

会山行報告書

通算山行NO	NO. 357	報告者	後藤隆徳
年月日	07年12月31日~08年01月02日	2万5千	大瀬崎・達磨山
山名	大瀬崎~達磨山~魂の山~猫越岳~二本杉峠	土肥・湯ヶ島・湯ヶ野	
体力度=4・やや厳しい 技術度=3・普通 藪漙度=ある 道標=ない・ある トイレ=ない 展望度=360度の大展望 三角点名=達磨山(ダルマの、ま、がちがう・達磨山) 等級=一等三角点			
<h2>待望の西伊豆山稜線を行く</h2>			
コース とタイム	12/31	下土狩5:00-天城トンネル下-大瀬崎7:50-出発8:15-411m峰-真城峠12:20-奥山(761、4m峰)-金冠山14:00-達磨山15:30(C1・泊)	
	01/01	起床5:00-出発6:15-船原峠7:30-南無妙峠8:50-魂ノ山10:45-仁科峠11:35-猫越岳13:00-つげ峠15:00(C2・泊)	
	01/02	起床4:30-出発6:00-二本杉峠7:15-大川端7:55-大瀬崎9:00-長岡・夫婦の湯-下土狩	
標高差	上り=大瀬崎0m~達磨山981.8m+86m=約1067m 下り=		
参加者	後藤隆徳(60)、斉藤富夫(あさぎり山の会・58)、加藤秀子(富士山楽歩会・58歳)=3名		

12/31

今回の山は2008年にちょっとした予定があり訓練登山で計画された。

ただ、年末年始の山は大荒れで、仲間の体調もあり急遽、山城を変更した。

早朝、車を1台天城トンネル下駐車場にデポし、大瀬崎に向かう。

大瀬崎はすでに北西の強風が吹き荒れ、海には凄い波頭が立っていた。

早朝にも関わらず、地元の婆様に拝観料100円を支払い、大瀬神社境内を一周し、いよいよ山に向かう。荷物は男性が23Kg、女性は少し軽かった。

実は2年前、同じメンバーで4日かけ石廊崎から二本杉峠まで縦走した。これは伊豆半島・北行コース。今回は南行コースである。しかし、出発地を何処にするかポイントだった。より長いコースに拘り、駿河湾に突出している大瀬崎を選んだ。

大瀬崎から西伊豆歩道を国道414号に上がる。ここからいよいよ山になる。勿論、道はない。でも、スズタケは枯れて、まあまああるき易い。標高440mまでは物凄



い急登が続く。ここから411.7m・三角点名=江梨までダラダラと続く。

ここから少し分り難い藪を切り切ると林道に出て、やがて真城峠に至る。峠は立派な車道が通る。風は相変わらず荒れ狂い、ゴーゴーと耳にうるさい。

猪の掘り起こしで歩きにくい道を行くと、761.4m・三角点=古宇村に着くが、三角点は分らなかった。ひと上りで金冠山(816m)に上る。寒いので達磨山に向かう。

達磨山までは海からモロに風が吹き上げ、大荷物でよろけてしまう。時間が遅くなり、そろそろ幕営地が気になる。結局、今日の宿は達磨山の南駐車場になった。兎に角、猛烈な風。万全の態勢で幕営を終了。

本日は大晦日で「本当の忘年会」が始まった。夕食は「すき焼き」と「越年そば」。アルコールもガッチリやって、風は全く気にならなかった。

1月1日

朝方、何台かの車が来て、達磨山に初日を拝みに上って行った。寒いのご苦労様である。「雑煮」の朝食で出発。まだまだ初日の出には早い。

達磨山から伽藍山を経て、南へ南へ向かう。今日も風が強い。これではアルプスは遭難が多いだろう。船原峠手前で初日の出を向かえる。峠では暴走族が右往左往。おまけにギャラリーまでいた。

この先の棚場山は展望のなかなか良い山だった。登山道は概ねスカイラインに沿って続く。ただ、余りに車道が近すぎ面白くない。ここから吉奈峠、南無妙峠を経て魂ノ山に向かう。ここは200mほどの上りだが、何故か辛い上り。

頂上で食事を摂ると東の空に「鼠」形の雲がたなびいていた。これは新年から縁起が良いと一同大いに盛り上がる。

バックは魂ノ山

魂ノ山を下ると風早峠に出る。この辺りはなだらかな草原が広がり、身障者ハイクに使えるねと話す。

相変わらずの強風の中、仁科峠に降りると、リモコン飛行機愛好者が、風が強くて飛ばされしまったと飛行機を回収していた。

ここで昨夜酒を飲みすぎて今夜酒が足りないのを思い出した。



ここはK特攻隊員が一念発起。飛行機の旦那に頼んで酒を分けて貰った。あ〜、これで今夜の「新年会」は安泰だ。

仁科峠からやっと本来の伊豆の山になり猫越山に向かう。途中には「後藤山」がある。ここで記念撮影。

上から数人下って来た。話をする则会報を交換している「杉並労山」の仲間だった。会報でお馴染みの外人の方も一緒だった。ここで槍ヶ岳の遭難事故を初めて聞いた。今



猫越岳のブナ林

後の交流を約束し杉並さんと分かれ、途中猫越岳火口湖に寄る。薄っすらと氷結し、青空をバックに凍雲がグングン流れていた。なかなか絵になる所だった。簡単に猫越岳に上り再び南下。猫越峠を越えるといいブナ林が広がる。



杉並の仲間達

特に縦走路を外れ、手引頭（1014 m）付近は素晴らしい。恐らく伊豆・天城では一番だろう。

ブナを楽しんだ後、つげ峠に到着。ここもいい所だった。時間は早く今日下山すれば出来ないこともなかったが、まあ、お酒はあるし今夜はここで新年会を決定し幕営準備をする。

今夜はK力作の本格的カレー。ただ、水とガスの残量が厳しいので、節約ムードで新年会は進行。あれ程吹いていた風はようやく収まった。静かで暖かい元旦

の夜だった。こんな風に仲間とテントで年末年始を過ごせる事は幸せなことだ。

1/2

かなり冷えた朝だった。周りの落ち葉には一面霜が降りていた。ヘッドランプで出発。まだ東の空は明けない。三蓋山でようやく夜が明けた。辺りは「霧氷」が広がっていた。二本杉峠で今回の目的を達成。これで石廊崎と結ばれた。後は東行コースである。



